



と う み
東 御
市 議 会 だ よ り

TOMI

Vol.11 2006 11/1



10月15日にオープンした海野マレットゴルフ場



元気いっぱい竹を鳴らして



おじいちゃんおばあちゃんと力を合わせて

第3回定例会

第3回定例会…………… 2～4P
 市議会の活性化に向けた動き…………… 5P
 常任委員会報告…………… 6～7P
 行政視察報告…………… 8P

一般質問…………… 9～15P
 請願・陳情・意見書・人事…………… 16P
 議会のごき…………… 17P
 私の一言…………… 18P

9月定例会

17年度各会計決算を承認

一般会計(歳出)

128億9874万円

東御市の第3回定例会は、9月7日から28日までの22日間行われ、平成17年度各会計決算および18年度各会計補正予算を可決したほか、請願、陳情などを審議しました。



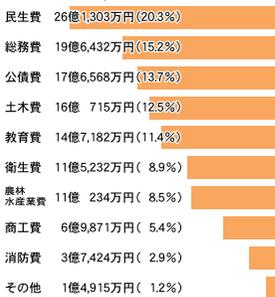
代表監査委員
土屋 清治

監査報告

合併2年目の実質の決算

一般会計決算額

歳出 128億9,874万円



歳入 135億5,174万円



17年度の東御市一般会計、10の特別会計、2つの企業会計について、7月より8月にかけて、決算審査を行いました。提出された決算書類、関係調書等により、所定の監査手続きを実施しました。

その際、毎月定期的に実施しています例月出納検査、毎年定期的に行っています定期監査(本年は15日間26部署を実施)、ならびに専門家の指導を得て実

施した工事技術監査の結果も参考にしました。

事業内容、予算執行、あるいは財産管理等について、おおむね適切であり、合併の効果も徐々に出現し、所期の成果が上げられていました。

決算において、一般会計につきましては、5億4,800万円の黒字、8特別会計で1億5,200万円の赤字で、大変よかったです。2会計(実質は1会計)が赤字でありました。

水道事業会計は施設も安定的に稼働し、安全な水が安定的に供給され、かつ黒字決算であり評価します。

病院事業会計は、東部町以来、4年続いた赤字であり、累計2億9,800万円となり、残念であります。その中で、小児科など外来の利用は、非常に多いのですが、入院については、30床も空いている状況です。早く常勤医師が確保され、立派な施設が有効に活用されることを期待しています。

決算特別委員会審査報告



決算特別委員長
齋藤 謙

審議経過

平成17年度決算について、地方交付税の見直しで自治体にとって厳しい経済状況の中、財政運営が行われ、合併効果により実質黒字決算となりました。収納率も県内19市で6番目。今後の経済情勢によっては収納率低下も予想されるので、さらに努力されたい。

次に、身体教育医学研究所が共同で健康づくりや介護予防事業を行い効果を上げつつあり、現在の研究所が手狭になり改築したいとの報告があった。また、中山間地直接支払制度に国の会計検査が入り、今後、市として調査が必要との指摘があった。

なお、原案を認定するにあたり次の意見を付することにした。東御市健康づくり計画が策定されたが、平成13年度と比較すると医療負担が7億円以上も増えており、

地方交付税の見直しで厳しい経済状況の中、実質黒字決算であるが一層の財政健全化を！

今後予防事業に一層力を入れる必要がある。身体教育医学研究所、各部各課で取り組みがなされているようであるが、縦割行政の弊害も指摘されるので、横の連携の取れた効果的な事務事業の推進を図り、健康づくりにあたるよう要請する。

総括質疑

平成17年度東御市一般会計決算については、9月15日の本会議で総括質疑が行われ、その後、各常任委員会へ付託されました。各委員会で3日間にわたり、詳細な説明を受けるとともに予備審査を行い、さらに、13人の委員で構成された決算特別委員会にて審査を重ねました。最終日の28日決算特別委員長の報告があり、その後討論、採決が行われ、平成17年度東御市一般会計決算が認定されました。

審議の主な内容をお知らせします。

問 生活管理指導員派遣事業委託料が、旧東部町と旧北御牧村と二つに分かれているが、将来的に統一の見直しは。

民生福祉部長 社協とJA佐久浅間に分かれており、佐久浅間の方が北御牧地区のヘルパー派遣事業であります。国や県の機関、JAの合併もいらんだ中では、統一の検討も必要になってくると考えております。

問 滞納繰越金について前年度に対しての収納率がかなり下がっています。

その中で、収納員の皆さんは大変ご苦労されていると思いますが、不納欠損額が昨年より180,06万円多くなり、金額で5200万円程度あります。その中でも固定資産税が多いように思いますが、それについての理由は。

総務部長 不納欠損で固定資産税が多いのは、法人が倒産した事例があり、それが裁判等ではつきりした方

向が出て、そうした金額が非常に多かったという点が原因であります。

問 市税の中で法人税は監査報告書にもありましたが、かなり収入が増えているが。

総務部長 17年度の決算の中では、法人税が31.8%伸びているが、市税についてはほとんど増減がありませんでした。景気が回復傾向にありまして、いわゆる法人の中には非常に収益が上がってきた状況があります。しかし市全体を見ますと、すべての法人がということではなく、一部の法人がよいところもあり、一部においてはなかなか収益が上らないなど、いわゆる景気にばらつきがあると思っています。

問 ホームページ委託料、例規集データベース委託料があるが、これだけ多くの職員がパソコンを前にして仕事をしています中で、委託をしなければならぬのか。



「身体教育医学研究所」健康について総合的・実践的に研究を行っている

総務部長 ホームページ関係の委託料については、数字や文章は毎日、職員が修正をしていますが、骨格部分、いわゆる構造的な内容の部分については職員が修正できないので、その部分は委託しています。

問 遠距離通学費で、17年度は726万円出ているが、これから新システムで巡回バスがうまく回ることにより援助金は減るのか。

教育次長 通学援助費については、学校から地区公民館までの距離を基準として、定期代に換算したり、距離から換算して実施しているのので、交通システムを導入したことによつて額の変動はないと考えます。



リニューアルされた東御市のホームページ

一般会計決算に

賛成!!

反対!!

賛成討論

平成17年度の歳入は、135億5174万円、歳出は128億9874万円で実質収支は5億4800万円の黒字で、厳しい財政状況の中では堅実な財政運営の結果だと考えます。また、歳出の中の議会費の減少など合併効果も見られます。

歳入・歳出の中身を見ますと、歳入で昨年比べて、約24億5600万円の減で、これは合併が一段落し旧町村からの繰越金が無くなったもので、東御市本来の財政規模だと思われまます。

一般会計における歳入・歳出状況をみますと、経常収支比率85・9%、財政力指数0・472、公債費比率15%、起債制限比率8・5%で概ね健全財政といわれる数値にあると思われまます。

しかし、国が新しい財政指標「実質公債比率」を導入し、一般会計から公営企業への繰入金も借金返済とみなされることとなります。東御市

は過去3年間の平均は16%でありますが、市民病院への繰入金や、土地開発公社の債務負担行為など不安要素もあります。今後、なお一層の経費節減に努めてもらいたい。

また、市税の収納率は92・6%で県下19市の中で、6番目と決して低い数値ではないと思いますが、税負担の公平と財源確保の面からも収納率向上に努めていただきたい。以上申し上げ賛成討論とします。

反対討論

17年度決算は、公債費比率が15%、地方債現在高が149億円あり、より健全な財政運営をされたい。

歳入は、法人税が31・8%伸びたが、個人市民税は9・7%減となった。市税の滞納が2億5000万円あり、督促状件数2万件、差し押え件数341件である。国保税が約1億3500万円、水道料が約2552万円、下水道料が約1億円と収入未済額が多額である。

市議会の活性化に向けた動き



東御市議会議長 堀 高明

一、会派制の導入について

一、市民病院に関する研究委員会の設置について

町村議会から市議会に生まれ変わり市議会としての役割、市民の負託に応える議会運営を図るため先進地等の視察や研究を重ねて参りました。

その中で従来、個々別々に議員活動を行っていましたが「志を同じくする議員同志が集まり、議論を重ねることで個々の質や政策の質を高め議会を活性化させる」との考えから議員総意に基づき、会派制に移行を前提として昨年4月、グループ化を進め、4グループが発足しました。爾来、1年2ヶ月間政務調査費(年4万円)を有効に活用しながら、それぞれのグループが活動を続けて参りました。本年7月、今までの経過を踏まえ、正式に会派制に移行し5会派の届出がありました。届出会派は、清和会(9名)・さわやかな

な風の会(5名)・新風会(3名)・日本共産党(2名)・公明党(2名)であります。今後、11月中旬に開催予定の臨時議会で正副議長の選任や常任委員会、議会運営委員会の定数構成配分を決定しますが会派の「ドント方式」により決定することとしております。また、3月定例会では代表質問も導入することに決まっていることから議員のさらなる資質の向上を図り、調査機能の充実、政策形成機能の強化を図り信頼される議会運営に努めて参りたいと思っております。

つぎに、市民病院に関する研究委員会の設置については、9月定例会は決算議会とも言われ前年度の各会計の決算審査が中心であり、各常任委員会を審査が行われ、加えて決算特別委員会を設置し、さらに詳細な審査を行いました。

その中で市民病院事業会計が4年連続の赤字決算となり、議論の対

象となりました。市民病院は平成17年に改築され小規模病院ながら(病床数60床)最新の機器を整え市民の期待を担ってスタートしました。

しかし、病院関係者の必死の努力にもかかわらず地方病院全体の問題点ともなっている医師不足が病院経営にも大きな影響を及ぼしています。議会では現状の病院運営で市民の理解が得られるのか、また、累積する赤字は市財政を圧迫しかねない状況にあり、その対応策が喫緊の課題であるとの意見に集約されました。そこで、急ぎよ全員協議会を開催して、この問題を協議し、今後、特別委員会設置も視野に入れる中で、当面、市民病院に関する研究委員会を11名の構成で発足することになりました。

議会といたしましても、市民の信頼を得る病院運営に広い視野にたつて調査研究を行い提言をして参ります。



建設後38年が経過し耐震診断を行う市庁舎

こうした状況から、市民が厳しい生活の中から、税を納めていることが伺えます。市民の血税は、市民の生活や暮しの応援に使うべきです。議員の公費での海外視察は、中止すべきです。職員研修は、市民の目線で物事を捕え、市民の立場で判断できる人材を育成すべきです。専門学校への1億3523万円の補助金はやめ、介護サービス等の軽減措置などに使うべきです。同和事業、同和教育は、やるべきです。住宅改修資金等貸付事業で返済が滞っています。借りたものを返さない、これを仕方ないと、主体性と責任を放棄した市の対応は認められません。市民病院への繰出しは、約3億円です。市長は、最高責任者として、経営改善に取り組んで頂きたいです。市民が心豊かに生きられる市になることを願ひ反対討論とします。

会派所属議員一覧(届出順)

日本共産党

山崎美喜子 (乙女平)
小山 義明 (西海野)

さわやかな風の会

萩原 利幸 (桜井)
山岸 淳子 (加沢)
長越 修一 (田中)
依田 俊良 (県)
石和 大 (本海野)

新風会

石川 好一 (東町)
高藤 征紀 (原口)
小林 宗雄 (御牧原北部)

清和会

柳澤 旨賢 (中八重原)
堀 高明 (東深井)
町田 千秋 (本海野)
斎藤 斎 (東町)
青木 周次 (睦田)
船田貴久夫 (西宮)
清水 新一 (田沢)
神津 英典 (新張)
鶴田 武夫 (常田)

公明党

依田 政雄 (下八重原西)
三繩 雅枝 (金井)

※会派の届出は2名以上を原則としています。

「市青少年保護育成条例の早期制定を求める請願書」採択される

本委員会は3日間にわたって、付託された17年度会計決算（特別会計分も含む）と一部改正条例案4件、それに請願・陳情8件について審査を実施した。

会計決算の審査においては、実施された事務・事業の内容確認や今後の課題等を中心に審査が進められた。なお、有線テレビ特別会計は来年度からは一般会計での対応が図られるため本年度限りで無くなることである。

条例関係は、国の法改正に伴う条例の一部改正案3件と、市独自の条例の一部改正案1件が審議された。

市独自の条例は、「東御市一般職の職員の退職手当に関する条例」の一部を改正する案である。その内容は一般職の一定の職員に対し、勧奨を行い退職の機会を与え、職員の年齢構成の改善を促進し、市役所の組織の活性化と総人件費の抑制を図るための改正で、定年（満60歳）以前に退職する職員（ただし、年齢55歳以上で勤続年数25年以上の職員）の退職手当に10〜20%の加算をするという条例改正である。討議の過程では、退職勧奨が強制的にならないよう配慮した運用が必要であるといった意見や、市の組織改革のスリム化という点からやむを得ない改正である等々の意見が出された。

請願・陳情の中では、青少年育成関係の六団体連名で出された「東御市青少年保護育成条例の早期制定を求める請願書」の審査がとくに注目された。審査をより慎重に進めるために制定の推進を願う立場から慎重を求める立場から各一名の参考意見を求めて、その上立っての討議が進められ、賛成多数で採択となった。なお、この委員会にはマスコミをはじめ数名の傍聴者がみられ、本請願に対する関心の深さを知ることができた。

総務 文教

現地調査は完成間近の海野マレットゴルフ場と新築工事の進んでいる田中小学校体育館と、地域的なネットワークで結ばれている図書館の現状について視察を行った。



建築工事が進む田中小体育館

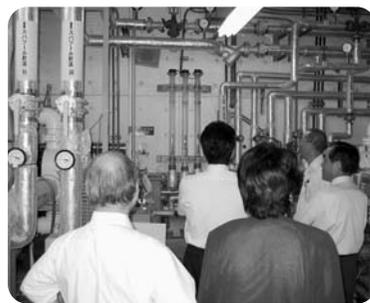
- ◎委員長 ○副委員長
- | | |
|--------|--------|
| ◎石川 好一 | ○小山 義明 |
| ○山岸 淳子 | ○青木 周次 |
| ○依田 千秋 | ○吉澤 政雄 |
| ○武 武 | |

病院の経営改善が急務

当委員会は、所管の6課の一般会計および国保・介護保険・市民病院を含む特別会計5件、条例1件、陳情3件の審査を行い、21日午後は3カ所の現地調査を行った。

子育て支援課においては17年度新規事業であるほけっとひろば・お父さんのための子育て教室が盛況であった旨の報告を受けた。

また、保育料について同時に3人入所の場合3人目は無料であるが、離れて3人目を入れた場合にも同様の措置を、との要望があった。市民課においては、最終処分場について、今後、建設は困難なところ掘り起こしができるものはすべしとの意見があった。



改修中の温泉アクティブセンター

社会 福祉

国保特別会計においては、どの自治体においても滞納が増加する中、本市においては収納率が県下2位なのは評価するが、今後において国保税が上がらないためにも予防重視の事業に力を入れ、健康人口を増やすことに全庁あげて努力を、との意見があった。

地域改善地区住宅改修資金等貸付事業特別会計については、監査委員からの指摘にもあるように、貸付金の収納率は約30%と非常に低く、収入未済額は2920万円と多額である。回収にあたっては毅然とした態度で臨むよう意見が出された。病院事業会計は、常勤医の確保については努力をされ、8月と10月に内科・外科医1名ずつ採用をしたが、まだ、これによって経営改善がなされるまでには至らなかった。今後においての医師確保については病院・市当局において、最大の努力を願いたい。平成17年度においては一般会計より約2億円の繰入れがされたが累積赤字は約3億円である。今後病院内においても健全経営がなされるよう検討し、住民の安心安全のための病院であるべく努力されることを付した。

現地調査は既存の建物を改装したボランティアルーム、ケアポット内にある身体教育医学研究所の現状と改修中のプール、改築中の中央保育園の進捗状況を視察した。保育園については12月完成予定を皆楽しみにしたところである。

- ◎委員長 ○副委員長
- | | |
|--------|--------|
| ◎三縄 雅枝 | ○山崎美喜子 |
| ○石和 大 | ○依田 俊良 |
| ○清水 新一 | ○船田貴久夫 |
| ○柳澤 旨賢 | |

新幹線湧水の有効利用を明神館の集客向上対策を

本委員会は、所管の5課の平成17年度一般会計決算の予備審査と、特別会計、企業会計、条例1件について審査を実施した。

一般会計では、中山間地域等直接支払制度について、国の会計検査院の検査の結果、対象外農地があることであるが適正な事務処理に努められた。

活性水については、3年間試験栽培をした結果、作物の成育に効果が得られなかったことであるが、今後也十分検討研究をしていきたい。また、「農産物加工施設とうみ」は、開業以来1年余りを経過したが経営状況も非常に厳しいため、市も積極的の経営指導すべきであるとの意見があった。

県営街路整備田中〜牧家線が年度内に工事が完成するが、その先線の県道東部・望月線の早期改良を県へ要望したいとの意見もあった。また、公共サインが設置されたが雑草等がよく見えない箇所もあり、管理体制に万全を期せられた。新幹線湧水については、2年間調査をした結果、水道水として使用する場合は、浄化施設、貯水タンク等の建設に6億円近くかかり給水単価が高くなるので今後さらに検討したいとのことである。

産業 建設

明神館の利用者は、減少傾向にあり特に宿泊部門の伸びが良くない。このため陶器、絵画、そば打ち等の体験学習の宿泊の募集を年4回行うことであるが早急な利用者増対策が望まれる。

公共下水道では、雨水排水処理の悪いところが多くあるので早期に工事をして欲しいとの意見があった。また、高金利の借入金については、低金利資金への借換えを早期に行うべきであるとの意見があった。

水道事業では、配水施設工事関係で市外の落札業者が多く見受けられるが、市内の業者にできないかとの意見に対し、市外の業者は、ポンプ工事、電気工事等特殊工事のみであるとのことである。



活性水の農業への有用性の試験栽培

- ◎委員長 ○副委員長
- | | |
|--------|--------|
| ◎高藤 征紀 | ○小林 宗雄 |
| ○長越 修一 | ○鶴田 武夫 |
| ○神津 英典 | ○荻原 利幸 |
| ○斎藤 斎 | |

行政視察報告

5月から7月にかけて各常任委員会に行った行政視察の概況について、お知らせします。

総務文教委員会

日程 5月15日～17日

- 新潟県柏崎市
 - 安全・防犯情報メールについて
 - 柏崎刈羽原子力発電所について
- 福島県下郷町
 - 国重要伝統的建造物群保存地区大内宿保存の状況について
- 埼玉県行田市
 - のびのび英語特区について
 - 不審者から子どもを守る取り組みについて
- 埼玉県小川町
 - 小川町立図書館について



小川町立図書館

社会福祉委員会

日程 6月27日～30日

- 岩手県紫波町
 - 循環型の町・紫波町 環境と福祉のまちづくりについて
- 山形県最上町
 - 保健・医療・福祉の総合化ウエルネスタウン構想について
- 山形県酒田市の高齢化社会のコンパクトシティ・病院と介護施設を核にしたまちづくりについて
- 山形県鶴岡市の筋肉向上・栄養改善介護予防モデル事業について
- 山形県米沢市の米沢市すこやかセンターについて
- 市民健康づくり運動計画、栄養改善事業について
- 紫波町は、公共施設に町内産木材を使用し、町内業者が関わることで大きな経済効果を生み出している。町産木材

産業建設委員会

日程 7月4日～7日

- 北海道伊達市
 - 中心市街地活性化事業について
- 北海道石狩市
 - 石狩市の農業について
- 高岡施設園芸組合のミニトマト栽培について
- 北海道恵庭市の花のまちづくり事業について



町内産木材を使用した紫波町上平沢小学校

北海道千歳市

- 農業生産法人(株)「田園倶楽部北海道」トマト生産流通事業について

 伊達市中心市街地活性化について

- モーターリゼーションの進展や消費者ニーズの多様化などにより既存商店街では、売上高が激減し衰退傾向となった。そこで商店街再生のため都市計画道路拡幅整備にあわせ、特色を持った近代化事業を実施している。商店街街路整備の全体テーマを、伊達物語回廊「こし商店街の活性化や伊達らしい景観に配慮した魅力あるまちづくり」をしていました。そして、地域住民や観光客等、子どもから高齢者まで、立場・世代を越えて人々が生き生き交流し、活動する場づくりと仕組みづくりを推進していました。当市でも田中商店街の街路事業が本年度完成予定ですが、伊達市を参考に心のかよった「まち」になる事を期待します。



整備された伊達市の街路

一般質問

市政を問う

本定例会の一般質問は、9月12日・13日の2日間にわたり13人の議員が行いました。要約してお知らせします。

一般質問初日の9月12日、北御牧小学校の6年竹組26名の皆さん(担任藁谷英治先生)が議会傍聴に来られました。6月の定例会傍聴の松組の皆さんと同様、整然とした傍聴態度には、感心させられました。初めて議場に入った子どもたちは、自分の目で確かめ、むずかしい一般質問にも真剣に耳を傾けていました。子どもたちのみずみずしい感性は何を受けとめてくれたのでしょうか。



小山 義明 議員

問 若者の定住策はさらに魅力あるまちづくりを

答 多くの。全人口は微増、平成10年～16年の傾向と同様、若者は8%減少で全国的傾向と問、若者は、住宅団地造成、少子化対策、雇用環境整備などを進めてきた。さらに自然環境、雇用環境を整備して若者に魅力あるまちづくりをしていきたい。

問 若者の定住策について、流入・流出の状況はどうか。定住策は具体的にどんなものがあるか。

総務部長 流入・流出は少し流出が



西海野ガケ崩壊現場調査

問 7月の大雨被害について、また、復旧計画について。今回も崩壊した西海野しなの鉄道北側のガケ崩壊防止工事はどうなっているか。

産業建設部長 市の建設課管轄28カ所470万円、農政課管轄11カ所270万円は市で対応する。残りの建設課関係13カ所、農政課関係33カ所は県とも相談して順次復旧を図って



傍聴に訪れた北御牧小竹組の皆さん

いきたい。

西海野のガケ崩壊では、倒木3カ所についてはすぐに取り除いた。ガケ崩壊は急傾斜地崩壊危険地域の指定になっていないので対策外になる。

問 難病対策について、科学物質過敏症に対する対策は、難病の状況と対策について。

民生福祉部長 国では科学物質過敏症の診断基準が明確になっていない。全国では子どもを含めて100万人、東御市で2人。市は保健師による電話での相談などを行っている。

難病は45種、県では8726人。東御市では146人の方が特定疾患給付を受けている。市では保健師による相談等を行っている。



小林 宗雄 議員

問 農業基本条例について
答 条例の基本理念を着実に実践していくことが必要

問 平成17年に農業基本条例が制定され、元気な農業と地域をつくっていくための5つの主題が策定された。水づくり、土づくり、ものづくり、人づくり、地域づくりの成果は。

産業建設部長 厳しい農業情勢に、市では生産性の高い農業を確立するため、ハード、ソフト両面にわたる対策を講じてきたが、まだ目に見えた

成果が上がっていないのが現状です。これらの対策を着実に実践していくことが必要だと思います。

米の需給対策について
問 米の需給対策が、農業者、農業団体の仕組みに変わるが生産調整も必要な施策と考えるが、新しい政策の中で行政としての対応は。

米の需給対策について
答 米の需給対策が、農業者、農業団体の仕組みに変わるが生産調整も必要な施策と考えるが、新しい政策の中で行政としての対応は。

農業、水、環境保全向上対策は
問 この事業は、農業のもつ多面的機能を守るために、農業、農村資源を地域ぐるみで、保全活動を行うものであるが、市としてのこの事業への取り組みは。

農業、水、環境保全向上対策は
答 この事業は、農業のもつ多面的機能を守るために、農業、農村資源を地域ぐるみで、保全活動を行うものであるが、市としてのこの事業への取り組みは。



たわわに実った稲穂

利用料一割負担の軽減を

問 4月から施行された障害者自立支援法に基づき、10月から市が主体となつて相談支援など行うことになる。場合によっては無くなる事業が出てくるのではと心配しているがどうか。

民生福祉部長 また、利用料の一割負担が重くのしかかり、逆に家に閉じ込めらるるを得なくなるのでは困る。軽減策を。

民生福祉部長 市では、制度の切り替えによりサービスの低下をさせないよう配慮をした。利用者負担については、10月から課税世帯で5%、非課税世帯でゼロとし、月額負担上限額を市民税非課税世帯で7500円とするなど国の基準の2分の1に設定した。

問 滋野公民館建設の見通しは
答 推進委員会をつくり来年度竣工を目指す



吉澤 武 議員



建築後35年が経過した滋野公民館

てきたということもあった。
 3年前から、区長会を中心に滋野公民館建設委員会を立ち上げ検討を重ね、この8月に「現在地」ということとでまとまった。40台から50台の駐車場用地の確保や、19年度中の建設を要望しているが、見通しはどうか。予算規模はどの位になるか。
 市が設ける建設推進委員会は、どの

ような構想で進められるのか。
教育次長 片羽区公民館の建設計画も十分考慮し、駐車スペースを確保し、来年度竣工を目指したい。予算については、市の実施計画の中で、1億4000万円となっている。
 推進委員会の構成は、今までの建設委員会をベースとして幅広くご意見を聞けるよう、20名程を考えている。



市民の安全を守る東御消防署



清水 新一 議員

問 大雨対策について
答 市民への情報伝達方法は緊急性のある情報を最優先

問 大雨の際、災害の発生するような予測があったとき、市民は大変心配になります。市民にどのような情報の伝達をとっているのか。

総務部長 市では大雨警報等の発令により、災害が発生されると予測される場合においては必要に応じて災害対策本部（本部長市長）を設置し、市職員はもろろん消防団の招集を行なうとともに、危険箇所を重点にパトロールを実施し、災害状況の収集、連絡活動を行っている。
 また、災害状況により、市民の避難

が必要である場合は避難勧告を、またライフラインが切断した場合の情報、あるいは道路崩壊等による通行止めの情報を伝達している。
問 災害発生予測が伴ったとき、区長や消防団の協力体制が不可欠と考えますが、市からの要請はどうなっているか。
総務部長 災害の防止や災害の軽減

することが目的である。遊具の設置については介護予防の観点から、設置も含め関係部局と連携をとり、検討している。
出産育児一時金の受取代理制度を
問 今まで出産費用は退院時に支払い、後日、当事者に支給されていたが、これを公的医療保険から直接医療機関へ支払う受取代理制度を国が示している。若い子育て世代にとって出産費用の準備は大変である。当市においても受取代理制度を考へては。
民生福祉部長 子育て支援の一つとして出産費用の負担軽減を図り、安心して出産できる環境整備を推進する



三縄 雅枝 議員

問 公園・マレットゴルフ場等に
答 介護予防遊具の設置を各部局と連携をとりながら検討する

問 少子・高齢化社会を迎え、社会保障費の増大は避けられない。そのことによるさまざまな負担増も避けられないと考える。このような中で大事なことは、いかに健康人口を増やし、医療・介護等の経費を抑制するからである。今、各自治体で公園等に介護予防遊具を設置し、日常的に軽い運動を行う、健康づくりに意識を持つことに取

り組んでいる所が増えている。当市においても公園・マレット場等に設置を考へてはどうか。
民生福祉部長 市においては、地域における介護予防の普及に力を入れ取り組んでいる。この事業は生活習慣病予防等の健康づくりや地域における自主的活動と連携をすることで健康寿命を伸ばし活動的な高齢者を増や

すことが目的である。遊具の設置については介護予防の観点から、設置も含め関係部局と連携をとり、検討している。
出産育児一時金の受取代理制度を
問 今まで出産費用は退院時に支払い、後日、当事者に支給されていたが、これを公的医療保険から直接医療機関へ支払う受取代理制度を国が示している。若い子育て世代にとって出産費用の準備は大変である。当市においても受取代理制度を考へては。
民生福祉部長 子育て支援の一つとして出産費用の負担軽減を図り、安心して出産できる環境整備を推進する



子ども向けの遊具は充実しているが…



石和 大 議員

問 市の借入金はどのくらいか

答 17年度末で一般会計、水道、病院で417億7000万円余

問 実質公債費比率は16%だが、財政見通しはどうか。

総務部長 平成19年度が償還のピークで20億円、その後も18億から19億円まで推移する見込みである。

問 公社の債務を合わせた連結バランスシートを作成しているか。

総務部長 作成していない。土地開発公社の借入金63億円を債務保証している。

具体的な行財政改革とはどんなことか。

市長 50歳以上の職員が3分の1いる逆ピラミッド状態を解消するため、55歳以上の職員に退職勧奨をする。若い人たちがやりがいのある職場をつくり、市民の目線に立った市政を目指す。

問 国の教育改革で検討されている学校選択制、教育バウチャー制度についての研究はしているか。

教育長 教育委員会としては、検討していない。今後研究していく。

問 子どもたちの教育の機会均等について市の工夫はあるか。

教育長 教員自身が常に初心に戻って質を上げるよう、校長と連携していく。各学校の中で、校長、教頭が中心にな



分譲中の土地開発公社所有地



東御市交番(常田)

問 現在は、7部25課(管理職30名)となっている。合併して2年半を経ていまだ目に見えた改革がされていない。市組織の整理統合、行政のスリム化が必要と考える。組織改革の具体案はあるか。

市長 簡素で実効性のある現状に合った組織に見直す時期に来ている。現在助役をリーダーに組織定員管理プロジェクト

問 現在市組織は、7部25課(管理職30名)となっている。合併して2年半を経ていまだ目に見えた改革がされていない。市組織の整理統合、行政のスリム化が必要と考える。組織改革の具体案はあるか。

市長 簡素で実効性のある現状に合った組織に見直す時期に来ている。現在助役をリーダーに組織定員管理プロジェクト



町田 千秋 議員

問 行政のスリム化と市組織の改革について

答 プロジェクトチームを作り検討している

より、ノウハウを持った団体や民間活力の導入を図られ、公共施設がさらに有効活用され、市民の福利厚生、サービスの向上、産業の発展にも役立つと考えられるが市の考えは。

市長 公共施設は管理運営を見直し、民間に出来ることは出来るだけ民間に委ねる行政と民間との適切な役割分担のもと効率性、専門性や行政責任

の確保を踏まえ、指定管理者制度の推進を検討していく。

合併後の一体制の確保について

問 警察署、公共職業安定所、労働基準監督署については現在も佐久地域と上田地域に分かれている。東御市として一体感の醸成には窓口の一本化が原則である。2万6千通の署名と市民大会後の推進状況と調整はどうなっているか。

市長 県庁に出向いた都度、要望し状況報告を求めています。新たに県知事、県警本部長も変わりましたので、改めて東御市の現状を説明し強く要請して行く。



斎藤 斎 議員

問 市民病院のこれからの経営のあり方について

答 経営改善委員会の設置を検討する

問 最近自治体の病院の民営化という言葉を耳にします。市民病院も経営健全計画を策定し実践に励んでいます。一般的な赤字の要因は給与費が大きく関わっていると言われますが、医療収入の53%を超えると経営が悪化すると言われているが、市民病院は何%占めているか。

病院事務長 市民病院は医療収入の61%であり、採算ラインを大きく超えています。

問 累積赤字額は。

病院事務長 約3億円である。

問 病床、手術室、MRIの利用状況はどうか。

病院事務長 病床利用率47.8%、手術室59件、MRIは、1465件です。

問 市長は公営企業の全部適用また

は外部委託を検討する考えはあるか。

市長 必要があれば経営改善委員会の設置を考えたい。

東御市の農業の将来について

問 大規模農家に助成金を絞る品目の横断的安定政策が導入され、小規模農家の切り捨て政策が取られています。耕作放棄地の状況は。

産業建設部長 94haである。

問 後継者育成対策について。

産業建設部長 地域の中核農家の育成、農業法人の経営強化を図ります。

問 定年帰農者対策について。

産業建設部長 今後の重要な担い手と位置付け、農協等関係機関と連携をし、技術講習会や営農指導等を実施し

て参ります。

問 国からの補助金交付金はどのようなものを利用しているか。

産業建設部長 中山間地域直接支払事業、担い手の経営力強化を目的とした農業作り交付金、農業生活基盤の整備を目的とした農業水路改修事業、また、畑かん事業の土地改良事業の補助金をいただいております。



増えている耕作放棄地



依田 政雄 議員

問 地方自治法の一部改正について

答 改正の趣旨に沿って条例改正等、必要な措置を講じる

問 改正の柱の一つに「地方の自主性・自律性の拡大を図るための措置」として①収入役制度の廃止等②財務に関する制度の見直しなどがあるが、来年4月実施に向けて市の考えは。

市長 今回の改正は地方公共団体の組織、機能、運営等を効率的に行えるよう柔軟かつ実行的な仕組みを用意するための改正であると理解している。

趣旨に沿って必要な措置を講じて参りたいと考えている。

若者の定住促進について

問 若者定着住宅および出産祝金の取り組みについて、暫定施行である北御牧村若者の定住促進条例の全市対象への改正について。



地域の皆さんにより整備されているグリーンパーク通り

推進すること、若者の定住を推進していきたいと考えている。

アドプト・プログラム制度の導入について

問 行政側と合意書を交わして里親となった住民や団体が、一定の区間を一定期間担当する形で美化活動を行うアドプト・プログラム制度の導入について市の考えは。

民生福祉部長 いろいろな分野での市民と行政のパートナーシップの育成につながる有効な手段だと思ふ。市としても多様な形で市民参加、協働のまちづくりを今後とも進めて参りたい。あわせて、市民団体の皆様の積極的なご提案にも期待している。

防災情報の一元化は。

総務部長 オフトーク、有線放送、フアックス、広報車などの現状の伝達手段を通して避難情報や被害情報を知らせると同時に応急対策をする。オフトーク、有線放送は全戸加入となっていないので新たな伝達について現在検討している。



荻原 利幸 議員

問 安全、安心のまちづくりについて
答 危険箇所を把握し、年次計画を進める

の耐震診断は進んでいるか、補強工事はすぐできるのか。
教育次長 23の公民館が昭和56年以前に建築されているが、現在までいづれも耐震診断は実施されていない。補強工事については、区の実情を踏まえて緊急性の高いものから順次実施をした。



子どもたちが描き、明るくなった滋野地区地下道

トーク、有線放送は全戸加入となっていないので新たな伝達について現在検討している。

問 県が土砂災害防止法で基礎調査した結果はどのようなものか。

産業建設部長 現在、上田建設事務所による土砂災害防止法に基づいた基礎調査が市内の危険箇所、区域を対象に行われており、この調査結果に基づき

住民説明会を開催し、地域の意見を聞いた上で土砂災害警戒区域、または土砂災害特別警戒区域の指定を決定している。

問 市内の小・中学校の登下校時の安全対策は。
教育次長 育成会や民生委員など各方面の皆様のご協力により、安全組織の中核的存在である見守り隊が、全校に結成され、毎日PTA、学校職員による登下校時のパトロールと連携をとり、安全パトロールなどを実施し防犯活動を積極的にやっている。



山崎美喜子 議員

問 青少年育成条例を制定すれば済む問題ではない
答 条例は地域住民の後押しになる

障害者自立支援法について

問 働きに行く程、お金がかかるが、利用を減らした人はいるか。

本人一割負担で市の負担が減るとなる。この財源で負担軽減を必要とするべき障害程度区分によって、必要なサービス支給が切り下げられないか。

市民の立場で働く職員に

問 市民が健康で文化的な最低限度の生活が営めるよう、市民の立場に立つて考えられる職員になる研修が必要か。



地域で取り組んでいる「INO宣言」

地域支援事業で実施する事業は、何か。利用料はどうか。
民生福祉部長 何人かいる。どんな支援が必要か、関わってほしい。500万程負担減となるが地域支援事業で1100万円負担増となる。個別の支援計画で必要なサービスを利用できるように配慮する。大きくわけて9事業を実施する。
課税世帯5%、非課税世帯をゼロに月額上限額も国の2分の1を設定した。



山岸 淳子 議員

問 学社融合の推進について
答 さらに趣旨や推進の内容について啓発する

らに多くの皆さんに興味や内容をお知らせしていきたいと思えます。

問 学校と地域を結び有料のコーディネーターの人選と配置について。

教育長 コーディネーターがいると大変スムーズに活動が充実します。市民の皆さんに奮ってご参加いただきたい。しかし学社融合は、無料がその精神です。



子どもたちのフラワーアレンジメント教室

問 各学校から要望されている地域から得たい支援についての対応は。

教育長 今後学校だよりで発進し区長会にもお願いし回覧していただき、[広報とうみ]への掲載も検討し

て参りたい。
問 各区の遊び場や公園の見直し、公民館の開放などを視野に入れ、日常的に地域の人と交流できる場所が必要かと思うが。
教育長 地域のより所となるよう、各区の遊び場、公園等の点検、施設整備や子供たちも利用できる公民館を目指し事業推進を行って参りたい。

生活環境問題と健康被害について

※化学物質過敏症に苦しむ方の実情をお話し、理解と支援を求め、民生福祉部長より関係部署が連携した相談・情報提供・市民へのPR等のきめ細やかな対応をお聞きしました。



デマンド交通「とうみレッツ号」スタート

問 唐沢川とその周辺の土地崩落の復旧の見通しと、一級河川の改修箇所の要望に対し、県への進行状況は。
産業建設部長 祢津大星川上流唐沢



船田 貴久夫 議員

問 7月の豪雨災害復旧対策は
答 農業施設災害復旧や県単災害に対応

川が崩落をした箇所については今回補正予算で農業施設災害復旧により復旧したい。一級河川の求女川の関係では県単災害で対応したい。

が必要とされているが、申し込み状況はどうか。また、田中商店街の活性化案はあるか。
産業建設部長 平成17年交通システム検討委員会を設置し、検討を重ね新交通システムに移行する。小学生や高齢者のための公共交通の確保、田中商店街を中心とした商業振興等の観点から策定委員会を設置し、新システム

問 東御市新交通システム、デマンド交通導入について。
長い間の懸案であったデマンド交通システムがスタートするがどのような経過で導入されたか。また利用者登録

が減少している中、当市は微増の状況を得ている。今後、長期的な人口対策では団塊の世代の地方移動や2地域住居の新しいライフスタイル等受け入れ態勢が今後の検討すべき課題。

問 人口動態について。
総務部長 県内多くの市町村では人口が減少している中、当市は微増の状況を得ている。今後、長期的な人口対策では団塊の世代の地方移動や2地域住居の新しいライフスタイル等受け入れ態勢が今後の検討すべき課題。

- ◆「義務教育費国庫負担制度」の堅持を求める請願
 - ▽請願者 東御市教職員組合
 - ▽紹介者 山崎美喜子議員
 - ▽審議結果 不採択
- ◆長野県独自の30人規模学級の小・中全学年への早期拡大と複式学級の解消 県独自に教職員配置増を求める意見書提出に関する請願
 - ▽請願者 東御市教職員組合
 - ▽紹介者 山崎美喜子議員
 - ▽審査結果 不採択
- ◆30人学級の早期実現、教職員定数増を求める意見書提出に関する請願
 - ▽請願者 東御市教職員組合
 - ▽紹介者 山崎美喜子議員
 - ▽審査結果 不採択
- ◆東御市青少年保護育成条例の早期制定を求める請願
 - ▽請願者 東御市青少年育成市民会議・東御市青少年補導委員会・東御市PTA連合会・東部高校PTA・滋野地区青少年有害環境から守る会・和地区青少年有害図書から守る会
 - ▽紹介者 荻原利幸議員・清水新一議員
 - ▽審議結果 採択
- ◆核兵器廃絶国際協定実現を国連とすべての国に呼びかける意見書提出に関する陳情
 - ▽陳情者 非核の政府を求める長野県民の会
 - ▽審議結果 採択
- ◆「非核・平和自治体宣言」実現に関する陳情
 - ▽陳情者 非核の政府を求める長野県民の会・原水爆禁止長野県協議会
 - ▽審議結果 採択

- ▽審議結果 採択
 - ◆中国における法輪功学習者の臓器摘出の実態調査を求める陳情
 - ▽陳情者 日本法輪大法学会
 - ▽審議結果 不採択
 - ◆中国人強制連行強制労働に関する意見書案についての陳情
 - ▽陳情者 中国強制連行強制労働長野訴訟弁護団
 - ▽審議結果 不採択
 - ◆「仕事と生活の調和推進基本法」(仮称)の制定を求める意見書の採択を求める陳情
 - ▽陳情者 人によさしい地域づくりの会
 - ▽審議結果 採択
 - ◆「トンネルじん肺根絶を国に求めること」を求める陳情
 - ▽陳情者 全国トンネルじん肺根絶原告家族会・全国トンネルじん肺根絶長野原告団
 - ▽審議結果 採択
 - ◆ドクターヘリの全国配備へ新法制定を求める意見書の採択を求める陳情
 - ▽陳情者 人によさしい地域づくりの会
 - ▽審議結果 採択

人事

議会は、平成18年第3回定例会において人権擁護委員候補者の推薦人事案件について原案どおり同意しました。

候補者 山越 貞彦(西宮)

核兵器廃絶国際協定実現を国連とすべての国に呼びかける意見書

核兵器のない平和な世界を求める私たちは、唯一の被爆国として、被爆者とともに「ヒロシマ・ナガサキをくりかえすな」と呼び続け、核兵器のない平和な世界の実現を願っています。被爆60年の昨年、世界の市民・NGO(非政府組織)、多くの政府が核兵器廃絶を要求し、ニューヨーク行動をおこしました。この国際的議論を受け、原水爆禁止世界大会の呼びかけで、2006年初頭から新たな核兵器廃絶署名がはじまり、今までにない速さと大きさと、ほとんどの国際組織、各国の団体・個人から賛同が寄せられています。

ところが、核保有国の中には、将来にわたって強大な核兵器を持ちつづけ、さらに新型核兵器開発をすすめています。よって日本政府は、国連と核保有国をはじめ、すべての国の政府に対し、核兵器全面禁止・廃絶の国際協定の実現にむけ、すみやかに協議を開始するよう要請する。

他意見書(内容略)

仕事と生活の調和推進基本法(仮称)の制定を求める意見書

トンネルじん肺根絶を国に求める意見書

ドクターヘリの全国配備へ新法制定を求める意見書

議会のうごき

8月	1日	デザイナーセンターあぜだ開所式 みまき福祉理事會	27日	長野県老人クラブ大会	
	3日	川西保健衛生施設組合監査 全国市議會議長會研究フォーラム	28日	議會全員協議會 平成18年第3回定例會閉會	
	4日	佐久市望月外水道企業團監査 愛知県三好町幸田町議會視察來庁 社協理事會	29日	金婚祝賀式 第1回議會だより編集委員會	
	7日	議會運営委員會	10月	1日	東御市総合体育大會
	9日	東部湯の丸IC期成同盟會總會	2日	會派代表者會	
	14日	北御牧地區夏祭り	3日	デマンド交通受付センター開所式 市民憲章碑除幕式・とうみの日式典	
	15日	成人式	4日	東御市小諸市議會議員研修會	
	17日~18日	上田地域広域連合議會行政視察	5日	千曲市議會視察來庁	
	19日	新生「上田市」発足記念式典	6日	議會改革特別委員會	
	20日	社会福祉大會	7日	東京東御市會創立20周年記念總會	
	21日	佐久市望月外一市水道企業團定例會	10日	第2回議會だより編集委員會	
	23日	議會改革特別委員會	11日~12日	社協役員視察	
	25日~26日	北佐久郡老人福祉施設組合議會視察	11日~20日	米國カナダ都市行政調査團	
	27日	カラオケ部會発表會	13日	2006上田地域総合産業展 上田地域広域連合議會代表者會 川西保健衛生施設組合定例議會 埼玉県日高市議會視察來庁	
	28日	東御市民ゴルフ大會表彰式	14日	火のアートフェスティバル2006	
9月	1日	議會運営委員會	15日	海野マレットゴルフ場オープニング	
	7日	平成18年第3回定例會開會	16日	福島県西郷村議會視察來庁	
	8日	議會全員協議會	17日	第3回議會だより編集委員會 部落解放人權政策確立東御市懇談會 北信越市議會議長會評議員會 市民病院研究委員會	
	9日	子育てフェスティバル	18日	静岡県牧之原市議會視察來庁	
	12日~13日	平成18年第3回定例會一般質問	21日	東信5市議會議員マレットゴルフ交流会	
	14日	各常任委員會行政視察報告會 みまき福祉理事會	23日	男女共同参画サミット	
	15日	平成18年第3回定例會総括質疑	24日	第4回議會だより編集委員會	
	16日	巨峰の王国まつり開園式	25日~27日	上田地域広域連合議會定例會	
	18日	北御牧地區敬老會	26日	上田市東御市議會議員研修會	
	19日~21日	平成18年第3回定例會常任委員會	28日	社協ふれあいフェスティバル	
	23日	道の駅3周年記念セレモニー	30日~31日	川西保健衛生施設組合視察研修 小諸市外二市御牧ヶ原水道組合 議會定例會	
	25日	議會運営委員會 平成18年第3回定例會決算特別委員會 川西赤十字病院運営審議會	30日	各種団体親睦球技大會	
	26日	平成18年第3回定例會正副委員長會議 東御市民まつり実行委員會	31日	上田パイパス第2期工區建設促進陳情	

20年近く議会傍聴を続けて



荻原千昭さん(加沢)

この度、一般質問を毎回聞きに来て下さっている荻原千昭さんにインタビューをさせていただきました。

問 荻原さん、いつも議場へ足を運んでいただきありがとうございます。議会傍聴はいつ頃からですか。

荻原 もう二十年近くになると思います。初めの頃は、まだ勤めていましたので、休んで傍聴に行きました。

問 傍聴を始められたきっかけは。

荻原 私は、日頃、政治や経済に大変関心を持っていました。最も身近かな町の動きを知りたくて傍聴を始めました。

問 議会の様子は、当時と比べ変わりましたか。

荻原 余り変わっていません。変わったと言えば、傍聴する時、住所・氏名をきちんと記入し、議場に入るようになりました。意志表示をすると、傍聴者もとても厳粛な気持ちになります。まさに道路へ打ち

水をした時のような静けさと緊張感をもって議場に入っています。

また、年々傍聴者が少なくなってきたと感じています。家に居てもテレビで見られることも手伝っていると思います。多くの人に議場に来て聞いて欲しいと思います。

問 傍聴者が増える良いお考えがありましたらお聞かせください。

荻原 昔に比べ議場内の音声が良くなり、聞き易くなりましたし、最近は資料も用意され努力してもらっています。夜や休日に議会を開催している所もあると聞きますが、どうでしょうか。また傍聴者の生の声を聞く機会を作っていたらただけならと思います。

問 荻原さんには、議会だよりのご感想もいただいたことがあります。如何でしょうか。

荻原 二色刷になり、読み易くなりました。タイトルの活字をもう少し大きく、魅力のある言葉にと願います。市民と議会はまだまだ遊離しています。それを解消するためにもますます充実した紙面にしてください。

問 いろいろありがとうございます。また議場でお会いできる日を楽しみにしています。

(聞き手・文責 広報委員 山岸)

あとがき

10月3日、東御の日、市民憲章および市花・市木・市蝶制定式典が行われました。式典に臨み、豊かな自然と長い歴史に育まれた素晴らしい東御市に住む喜びと誇りを感じました。そして新たに制定された市民憲章を心のより所として、みんなで力を合わせ、さらに輝く東御市を目指していきたいと思えました。

さて、私も6人は広報委員として2年間、市民の皆さんと議会を結び、相互の信頼感を醸成する上で議会だよりの果たす役割の重大さを痛感しながら、編集に努力して参りました。「ありのままに」「親しみ易く」「市民の声が息づく」議会だよりを目指してきましたが、まだまだ課題も多いまま、次期の広報委員にバトンタッチをすることになりました。「私の一言」への投稿を初めさまざまなご支援をいただきましたことに心より御礼申し上げます。今後ともご愛読のほどをお願い致します。

(山岸 淳子)

広報委員

山岸 淳子 長越 修一
依田 俊良 石川 好一
柳澤 旨賢 堀 高明